

女性委員を男性に交代

自民

安全保障関連法案を審議中の参院平和安全法制特別委員会、採決をめぐり与野党間の攻防が一層激化することを想定し、自民党は大沼瑞穂氏(山形選挙区)ら同党の女性委員3人を男

性委員に交代した。情勢が緊迫化し、「(もみ合いになるなど)事態を予測することが困難」(同党国対)と判断した。同党の指示で委員を辞任したのは大沼、森雅子、猪

口邦子の各委員。鴻池祥肇委員長(自民)の職権で16日夜の開催が決まった締めくくり質疑の前に、代わって男性委員が選任された。大沼氏は国対控室で待機し「不測の事態で骨折でもしたら大変との配慮だった」と明かし、緊張した面持ちで状況を見守った。

一方の野党は、ピンクの鉢巻きをした衆参両院の女性議員有志らが採決を阻止しようと参院第1理事会室付近に集結し、「女性の声を聞け!」などと与党議員に詰め寄った。自民は元プロ野球選手の石井浩郎参院議員らが最前線で対抗、怒号が飛び交った。